



《評価指標データ》

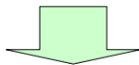
- 博士研究員（PD）の受入状況
- 日本学術振興会特別研究員（DC、PD）の受入人数
- 研究誌発行状況
- 提携大学との研究誌等の交流状況（送付・受入）
- 専任教員の発表論文数【基本的な指標データ】
- 学術賞の受賞状況【大学基礎データ】
- 学会誌・国際学会議事録等に掲載された学術研究論文件数
- 21世紀COEプログラムの採択状況
- 文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業の採択状況【基本的な基礎データ】
- 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業採択状況【基本的な基礎データ】
- 特定プロジェクト研究センター制度の活用状況【基本的な基礎データ】
- 国際学会でのゲストスピーカーの延べ回数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	



《次年度に向けた方策(1)》伸長させるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(2)》改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	



《次年度に向けた方策(2)》改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	
☆小項目4.0.2	
その他	

◎自由記述

《点検・評価》&《次年度に向けた方策》

☆ その他 (自由記述)	2003年度に実施された改編の評価と点検するための方法を立案する。
-----------------	-----------------------------------

### Ⅲ. 学内第三者評価

#### ＜評価専門委員会の評価＞

##### 【学外委員】

○2003年改組以降の組織について、点検、検証が望まれます。

##### 【学内委員】

○文学部改組後の状況について、評価と点検のための方策が模索されているようですが、その成果を期待したいと思います。

○学科が多いので大変だと思いますが、DP、CPが出ているので、研究組織の検証が求められます。

○目標の進捗と達成が求められます。特に、目標1の進捗評価は「B」となっていますので、早期の達成に期待します。

○昨年度の次のコメントは本年度もそのままコメントとします。

・学部の改組などが行われた後には、想定していなかったことが生起するものです。したがって、2009年度に総点検と改善が目標とされたことは適切です。その枠組の中で総合心理科学科問題も解決されることを期待します。

・2003年に行われた現状に合わせた学部編成は評価できます。当然検証することが望まれます。

##### 【大学基準協会:評価に際し留意すべき事項】

○小項目4.0.1

基盤評価：なし

達成度評価：「教育研究組織が、当該大学、学部・研究科等の理念・目的を実現するためにふさわしいものである」

○小項目4.0.2

基盤評価：なし

達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育研究組織の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている。」

### Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ DP、CPが出ることとともに、教育研究組織について、現状で問題点はないか、評価できる編成となっているかなど、専修、学科、学部全体と段階を経ながら検証を試みる必要がある。